

殺虫殺菌剤

フジワンラップ[®]粒剤

エチプロール……………1.5%
イソプロチオラン……………12.0%

種類名／エチプロール・イソプロチオラン粒剤
農林水産省登録／第22564号(日本農薬登録)
毒性／普通物^{*}
有効年限／4年
包装／3kg×6

特 長

- フジワンとエチプロールを配合しており、粒剤散布でいもち病とカメムシ類を同時に防除できます。
- エチプロールは斑点米カメムシ類に高い防除効果を示し、斑点米被害を阻止します。
- フジワンの登熟歩合向上効果により高品質米の生産に有効です。

適用病害虫と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	使用目的	適用病害虫名	10a当り 使用量	使用時期	総使用回数 [*]	使用方法
稻	—	いもち病	3～4kg	葉いもちに対しては 初発7～10日前 穂いもちに対しては 出穂10～30日前 但し、収穫30日前まで	本剤 エチプロール剤 〔は種時(直播)又は 移植時までの処理 は1回〕	2回
		ウンカ類 ニカメイチュウ		収穫30日前まで		
		カメムシ類	4kg	出穂10～30日前 但し、収穫30日前まで	イソプロチオラン剤 〔移植前は1回、 本田では2回〕	3回
		稻こうじ病		出穂10～20日前 但し、収穫30日前まで		
	登熟歩合向上	—		出穂10～20日前 但し、収穫30日前まで		

使用にあたって

■使用上の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 散布に当たっては、田水深を3cm以上の湛水状態とし、散布後少なくとも3～4日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。なお、極端な漏水田での使用はさけてください。
- 本剤は予防的に散布した場合に有効であり、葉いもち防除の使用適期は初発の7～10日前です。発生予察情報に注意して時期を失しないように早目に散布してください。穂いもち防除の使用適期は出穂20日前(葉いもちの発病程度、気象条件などにより出穂10～30日前)です。なお、本剤の使用適期は稻の品種あるいは地域により前後することがあり、また、多発時の散布は効果が劣る場合があるので、使用に当たっては使用時期を誤らないように病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 本剤を稻の登熟歩合向上を目的として使用する場合、低温等生育不良条件下で効果的であるので、これらの条件下で使用することが望ましいです。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
①ミツバチの巣箱およびその周辺にかかるないようにしてください。
- ②関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 無人航空機散布に関する注意については「製品情報と注意事項」の見方、「空中散布、無人航空機(無人ヘリコプター等)散布・滴下に関する注意」をご参照ください。

- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■蚕 毒

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかかるないようにしてください。

■水産動植物への注意

- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 無人航空機で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意してください。

■安全使用上の注意

-  ●散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

■貯蔵上の注意

- 密封し、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。

本資料の記載内容は2025年12月23日現在の登録内容に基づいています。